



# 修了生からのメッセージ

大学院博士前期課程  
論文コース修了



I.M さん

YMG訪問看護ステーション新横浜

神奈川県で子育てをしながら訪問看護師として働く私が、もっと学びたいという願いを諦めずに済んだのは、長野県看護大学大学院が遠隔授業を積極的に取り入れてくださっていたからでした。1年次では幅広く、看護の土台となる理論や最新の知見を学修しました。2年次では、臨床疑問から生まれた研究課題にじっくりと向き合い、批判的に思考し論理的に記述する力を養うことができたと思います。そして修了した今、理論を理解し研究に取り組むことが明日のより良い実践に繋がることを実感し、これからも続く果てしない学びの海にワクワクしています。

ワクしています。

個性豊かな魅力に溢れ、研究活動に行き詰った時も真摯に向き合ってください先生方や、看護を語りあえるゼミの先輩後輩、そして専門分野は違っても励ましあえる同期の仲間たちとの出会いも、進学してからこそ得られた、かけがえのない財産となりました。

進学を検討されている皆さんも、それぞれ家庭や仕事の事情はあると思いますが、ぜひ思い切って一步を踏み出す勇気を持っていただきたいと、心から応援しています！

大学院博士前期課程  
専門看護師コース修了



A.A さん

松本市立病院

臨床で日々看護に取り組む中で、認知症ケアやターミナルケア、身体拘束などについて「これでいいのか、もっとよい方法はないのか」と感じ、高齢者看護領域の知識と実践的スキルを身につけたいと考え専門看護師コースを履修しました。少人数のため先生方には手厚く指導していただき、他の分野の大学院生とディスカッションを行う機会もあり視野を広げることができました。臨床での仕事と家庭、大学院と両立が大変な時期もありましたが、指導教員や職場・家族の支援もあり長期履修制度を利用

し4年で修了しました。

現在は院内外での教育活動、認知症看護認定看護師と協働し高齢者・認知症ケアの質の向上を図り、身体拘束最小化に向けて多職種でラウンドを行うなど高齢者看護の質の向上に向けた活動を行っております。

大学院進学を検討されている皆さん、仕事と学業の両立には時間管理や体力面での挑戦が伴います。ですが、それ以上に学ぶことの楽しさを実感することができます。ぜひチャレンジしていただければと思います。

大学院博士後期課程修了



O.S さん

清泉大学看護学部

令和2年4月、私は長野県看護大学大学院博士後期課程に入学し、看護師の多重課題に関する研究に取り組みました。臨床現場の看護師教育につながる研究を目指す中で、新型コロナウイルス感染症の影響による調査対象者の確保の難しさや、データ分析における試行錯誤など、さまざまな困難に直面しました。しかし、その都度、先生方からの励ましや的確なご指導をいただき、困難を乗り越えることができました。

振り返れば、こうした経験が自身の成長につながり、学び続けることの大切さを改めて実感する機会となりました。また、大

学院での学びは研究活動にとどまらず、看護管理学や看護教育学の講義を通して新たな視点を得ることができました。これまで無意識に実践してきたことが学問的に裏付けられたことで、自身の経験に確かな意味づけがなされ、新たな課題や問いにも気づくことができました。

今後は、大学院で培った経験をもとに、研究成果を社会に還元できるよう後続研究を進めていくとともに、教育者として、丁寧かつ的確な指導を行えるよう、誠心誠意、努めてまいります。